



こまえ学習サポート  
プロジェクト 代表

住友和子さん

こまえ学習サポートプロジェクトは、狛江市内の学生たちの「市内には、静かに集中して勉強できる公共の場所や施設が少ない」という声を聞いて、狛江の子ども達の学びの応援をしたいという気持ちを持ったメンバーが集まった団体です。中央公民館の主催事業として毎月5、6回開放されている学習フリースペースは、こまえ学習サポートプロジェクトの働きかけで、中央公民館が場所の提供を積極的に考えてくれるようになり、運営に協力しています。会員は13名、うち10名ほどが見守りスタッフとして協力しています。代表の住友さんに、学習フリースペースや今年で2回目となった新たな企画「こまえスタディカフェ」についてお話を伺いました。

—学習フリースペースは、どのような年代の子ども達が毎回何人くらい利用しているのですか。

塾へ行く前に立ち寄ったり、定期試験前に利用する中学生が多いですが、小学生から大学生まで、短時間でも長時間でも自由に利用ができます。狛江市は自転車移動が多いので、雨が降ったりすると来なかったり、利用人数も毎回違います。この活動を通して感じているのは大人の予定通りにはいかないということです。何人来たかという結果にはこだわらず、勉強する場所を求める子ども達に場所を提供する協力をしたいと思っています。

—その思いが「こまえスタディカフェ」という企画に繋がったのですか。

ここ数年で、狛江市内にカフェが増えてきました。そのカフェの空いている席を借りて、学生たちが自習できる場所を増やしていこう！ということから2021年の夏に期間限定、4店舗でスタート。2回目の今年は、6月20日から8月31日。協力店も7店舗になりました。期間中、登録料1,000円で利用カードを発行します。1回の利用につき回数券1枚（6枚つづり500円）をお店で渡して空席があれば、注文を



こまえ Study Café  
Instagram



中央公民館学習フリースペース

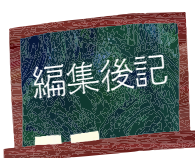


学習フリースペース  
見守りスタッフの佐久間さん

しなくても学習できます。子ども達は街の様々な場所で安心して勉強ができ、お店や街の大人達はそんな子ども達を見守ることで地域が繋がっていくように思います。

—今後はこういった活動をしていきたいですか。何か新しい企画はありますか。

昨年、今年と「こまえスタディカフェ」を夏に企画しましたが、冬休みに企画してみるとか、休み以外の時期、例えば定期試験に合わせる等、色々試してみたいと思っています！



中央公民館や、カフェで勉強している子ども達を見かけたら、静かに見守り熱く応援したいなとお話を聞いて思いました。今後の新しい企画も今から楽しみです！

(取材記事：こまえくぼ広報部会 市川)